

2021 度（第 11 事業年度）

「事業報告書」

一般財団法人 Ruby アソシエーション

1 事業の概要

2021年度の当財団の活動は、利用者が Ruby を安定して利用できるよう、また便利に使えるように、Ruby 安定版の保守事業、公募型開発プロジェクトの開発支援を昨年度に引き続き継続しました。また、Ruby の開発コミュニティに対して開発サーバー費支援を行いました。これらの開発による成果は、多くの Ruby ユーザーに恩恵をもたらすことが期待されます。

2020年度と同様新型コロナウイルス感染症の影響により集客型のセミナーは開催できませんでしたが、代わりに開発助成の成果報告会や Ruby ビジネスセミナーなどをオンライン開催し、当日の動画を公開することにより情報発信を行いました。

当財団は、その目的である Ruby 関連のプロジェクトやコミュニティ、ビジネスの関係をより良好なものとし（「Ruby Eco System」の構築）、ビジネス分野における Ruby の利用に関する諸課題の解決に取り組みました。

本書では当財団の 2021 年度の実施状況について報告します。

2 体制及びその変更

1) 評議員

2021 年度評議員

- ・ 出田 健二 (株)まちづくり三鷹
- ・ 大場 寧子 (株)万葉
- ・ 小崎 資広 富士通(株)
- ・ 後藤 裕蔵 (株)ネットワーク応用通信研究所
- ・ 立久井 正和 (株)インターネットイニシアティブ
- ・ 千種 実 (株)日立ソリューションズ
- ・ 中島 宏 (株)DTS
- ・ 羽田 昭裕 日本ユニシス(株)
- ・ 森 正弥 デロイト トーマツ(同)

2) 理事

- ・ 代表理事理事長 松本 行弘
- ・ 副理事長 井上 浩
- ・ 理事 橋本 明彦
- 田中 和明
- 笹田 耕一

3) 監事、顧問及び事務局

- ・ 監事 今岡 正一（公認会計士）
- ・ 顧問 上定 昭仁 松江市長、丸山 達也 島根県知事
- ・ 事務局 前田修吾（事務局長）が事務局業務全般を統括し、常勤スタッフ

1名と外部委託1名の体制です。その他、松江市、島根県による人的支援によって運営しました。また、事例収集のため外部のライターと、規格文書の保守および改訂の作業のため外部の専門家と契約を行っています。

4) 評議員選定委員会

- ・委員長 立久井 正和（評議員）
- ・委員 今岡 正一（監事）、横田 早百合（事務局員）、高橋 征義（外部委員）、田中 哲（外部委員）

3 実施事業

1) Ruby 開発及びその他支援事業

(1) 公募型開発支援プロジェクト

Ruby 及び周辺環境の改善を目的に Ruby 処理系、ライブラリ及びフレームワークに関連する開発プロジェクト（既存のソフトウェアを改良するプロジェクトを含む）を公募し、開発助成委員会で選考の結果、以下4件のプロジェクトを採択しました。

いずれも2022年3月31日までに開発を終え、その成果を公開します。

- ・応募件数：5件
- ・採択件数：4件

① 採択者：Monstarlab	プロジェクト：picoruby-compiler: An alternative mruby-compiler
<p>2020年のRA Grantに採択されたPicoRuby compilerは一定の成果を収め、mruby/cと統合されてワンチップマイコン向けRubyインタプリタ実装“PicoRuby”になった。他方、PicoRuby compilerの特長である省メモリ性能は、mrubyとの統合においてもメリットがあると考えられる。本プロジェクトは、PicoRuby compilerがmrubyの第二のコンパイラとして実用可能なモジュールになるようソースコードを再編成し、必要なAPI等を整備することを目標とする。</p>	
② 採択者：齋藤 優太	プロジェクト：MRIのWebAssembly対応によるポータブルなRubyプログラムの実現
<p>WebAssemblyは既存資産をWebブラウザ上へ移植する目的だけではなく、Webに限らない安全なポータブル実行形式として注目されており、エッジコンピューティング、組み込み環境、プラグインシステムのインターフェイスなど、様々な場面で使われている。RubyコミュニティではEmscriptenを用いた、Ruby処理系のWebAssembly移植が既に行われているが、ホスト環境に大きく依存しており、前述した用途で用いることは難しい。</p> <p>本プロジェクトでは、MRIをスタンドアロンなWebAssemblyにコンパイル可能にすることで、Rubyプログラムのポータビリティの向上を目指す。さらに、RubyプログラムをWebAssemblyバイナリにパッケージ化し、1バイナリでの配布を可能にすることも目指す。</p>	
③ 採択者：小野 直人	プロジェクト：“debug.gem”の利用体験・開発効率の改善
<p>本プロジェクトでは、2つのアプローチからdebug.gemのクオリティを向上させていく。1点目はChromeを使ったデバッグ機能の実装である。多次元配列や複数の変数などのバックトレース情報をターミナルで表示しようとする、複雑なものになっ</p>	

てしまいユーザーにとって使いにくいものになってしまうという問題がある。そこで、Chromeを介してプログラムをデバッグすることでバックトレース情報を見やすいものにしていく。こちらは既にプロトタイプとしてdebug.gemの中に導入されていて改善を引き続き行っていく。2点目はテストフレームワーク開発である。debug.gemにおいて利用できる外部ツールはVScode、Chromeデベロッパーツールの2つで、プロトコルを送るサーバーが実装されている。しかし、これら2つのテストフレームワークは現在用意されておらず開発の際に他の機能への影響が無いか手動で確認しなければならない。テストフレームワークを開発することで開発体験をより良いものにしていく。

④ 採択者：Kevin Newton	プロジェクト：Ruby formatter
--------------------	-----------------------

Description: Ruby formatter is a reimplement of the prettier plugin for Ruby written in pure Ruby. It will provide an executable that can be used to format Ruby files from the command line. It will also provide a language server that can be used to integrate with editors to enable format-on-save functionality. Its implementation will be based on both the ripper and prettyprint gems, with additional functionality being added to both.

(2) その他の助成

用途を限定しない助成金の申請窓口を設置し、公募型開発以外の分野でも助成を受け付けましたが、2021年度は申請がありませんでした。

(3) Ruby 安定版保守事業

ユーザーが安心して Ruby を利用できる環境を構築するため、Ruby 安定版の保守事業を実施しています。事業仕様策定後に業務を外部機関に委託することとし、委託先の選定に際し公募を行った結果、昨年度に引き続き中村宇作様を委託先に決定しました。委託期間は2022年3月31日までです。また2021年度も引き続き、アメリカの非営利組織である Ruby Central より本事業に対して助成金の交付を受けました。

(4) サーバー運営支援

Ruby の開発コミュニティに対して開発サーバー費を支援しました。

2) 情報発信事業

(1) 事例紹介

協賛会員をはじめ、Ruby をビジネス利用する企業の企業担当者にオンラインで取材し、概要情報と詳細情報を作成しました。これらの情報は、利用時の背景事情、適用されたビジネス・システム分野やその特性など、利用企業のみならずエンドユーザー(企業や個人の場合あり)の損益にも深く関わる場合があることから、公開前に利用企業等による内容確認を実施し(その際にエンドユーザーに了解を得ることもあった)、関係者合意の上で財団ホームページに掲載しました。2021年度は新たに12件の利用事例を紹介しました。

2021 年度掲載企業	テーマ
株式会社メディカルノート	「医師と患者をつなぐ」を技術面から支援する
株式会社 tsumug	それぞれの心地よい居場所で世界を埋め尽くす
株式会社メドレー	インターネットサービスを起点に、医療情報にアクセスできる社会を目指して
株式会社オープンエイト	マルチクラウドを活用した、伝えるための動画を誰もが作れる Video BRAIN
株式会社ジョリーグッド	VR ですべての人の学びをより良くしたい
クリアル株式会社	1 万円から始める。不動産投資クラウドファンディング
一般社団法人 日本ニアショア開発推進機構	ニアショア開発の新しい仕組みを実現する Teleworks
株式会社すむたす	対話を大切にしながら作り出す、新しい不動産売却
株式会社 ONE COMPATH	楽しく書ける Ruby で作る、楽しみながら歩けるサービス 「あなたの一歩が宝に変わる」 aruku&
株式会社クラウドワークス	個人が自らの才能・スキルを活かせるインフラを目指して
株式会社ヤマップ	人と山をつなぐ、登山地図 GPS アプリ YAMAP
株式会社 HIKKY	ギネス世界記録™にも認定されている世界最大の VR イベント バーチャルマーケット

(2) RubyWorld Conference 2021 の開催

2021 年 12 月 16 日(木)にオンラインで開催された RubyWorld Conference 2021 において開催実行委員会の構成団体として参加しました。

(3) Ruby ビジネスセミナー開催

2021 年度はオンラインでイベントを開催いたしました。これらのセミナーでは、Ruby の利用状況と今後のビジネストレンドをはじめ、開発現場で必要とされる技術情報など、状況に応じた話題提供をすることで参加者のニーズに合わせたセミナー機会を提供しました。

開催時期	イベント名	参加人数／登録者数
2021 年 7 月	Ruby 技術者認定試験合格者ミーティング with まつもとゆきひろ	6 名／7 名
2021 年 7 月	Ruby Association Activity Report	54 名／55 名
2021 年 11 月	オンラインセミナー ～プログラミングで可能性の扉を開こう～	22 名／25 名
2022 年 3 月	Ruby ビジネスセミナー Online	21 名／30 名

※新型コロナウイルス感染症の国内における状況を考慮し、2021年度はすべてオンラインにてセミナーを開催しました。

(4) ジョブボード

昨年度から引き続き Ruby の求人情報を掲載できるジョブボードを提供しています。Ruby アソシエーションの協賛会員を中心とした Ruby の求人情報を掲載しております。(非会員企業も求人掲載可能)

(5) ウェブサイト

多言語化の取り組みの 1 つとして英語に引き続き、中国語のサイトを提供いたします。

4) Ruby 技術者認定試験事業

2021年度の受験者数は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により受験者数が減少した2020年度に比べ増加し以前の受験者数に戻りつつあります。

学割に関しては認知度向上に伴い、昨年度と同等の受験者が学割を利用して受験をしています。

認定者は、Ruby技術者としての技術力を公正に評価され、高い水準のRubyによるシステム開発能力を持つことを認定されます。認定によりRubyベースでシステム開発を行ううえで必要な基礎的な知識と応用力をもつことをアピールすることができます。

試験の合格者は、当財団が「Ruby Association Certified Ruby Programmer」として認定します。現在は、国内(試験区分: Silver、Gold)、海外(試験区分: Silver)で実施しており、2012年10月より当財団が直営実施(CBT受験環境、オペレーションはプロメトリック社に委託)しており、安心して受験いただける環境を提供しています。

2021年度はRuby 3.1に対応する改訂のために試験問題の作成を行いました。

5) 事業者認定事業

従来から実施している認定システムインテグレータプログラム(Rubyの高い技術力を持った企業を認定)に加えて、2012年10月から認定教育機関プログラム(Rubyの教育をおこなう高い技術を持った企業を認定)、認定サポート事業者プログラム(Rubyのサポートサービスを提供する高い技術を持った企業を認定)、及び認定クラウドサービス事業者プログラム(Rubyアプリケーションの運用に適したクラウドサービス(IaaS、PaaS)をおこなう高い技術を持った企業を認定)の各プログラムを実施しています。

2022年3月31日時点での認定企業数は以下のとおりです。

認定種別	Gold	Silver
認定システムインテグレータプログラム	36(36)	43(49)
認定教育機関プログラム	5(4)	2(3)
認定サポート事業者プログラム	2(3)	—
認定クラウドサービス事業者プログラム	3(3)	1(1)

※()内は前年度数

6) 協賛会員事業

- ・会員資格

法人、任意団体及び個人

- ・会員種別、会費

年会費 1口 10万円 (4月を開始月とします)

①Platinum Sponsor 5口以上 (50万円以上)

②Gold Sponsor 2口～4口 (20万円～40万円)

③Silver Sponsor 1口 (10万円)

2022年3月31日時点での協賛会員数は、以下のとおりです。

Platinum :	Gold :	Silver :
年間 5口以上	年間 2口～4口	年間 1口
11(12)	15(15)	50(51)

※()内は前年度数